

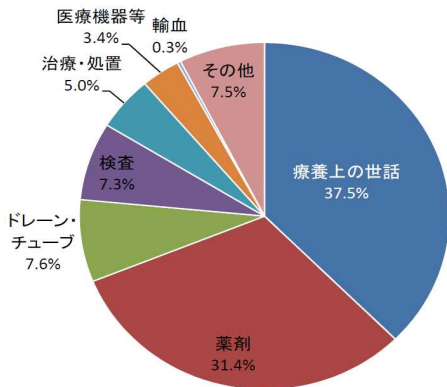
# 道立病院における医療事故等の発生状況

(平成26年度下期(平成26年10月～平成27年3月))

## 1 医療事故等のレベル別発生状況

区分	レベル	件数	割合
インシデント (ヒヤリ・ハット)	レベル0 (事故が起こる前に気づいたもの)	343	23.7%
	レベル1 (患者への実害がなかったもの)	952	65.9%
	小 計	1,295	89.6%
医療事故 (アクシデント)	レベル2 a (確認のための検査や簡易な処置又は治療を要したもの)	136	9.4%
	レベル2 b (処置や治療を要したもの)	10	0.7%
	レベル3 (濃厚な処置や治療を要したもの)	5	0.3%
	レベル4 (永続的な障害や後遺症が残ったもの)	0	0.0%
	レベル5 (死亡)	0	0.0%
	小 計	151	10.4%
合 計		1,446	

## 2 インシデントの種類別割合



## 【過去3年間の推移】

件数	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
上 期	1,612 (1)	1,492 (2)	1,750 (2)	1,676 (3)
下 期	1,337 (0)	1,383 (3)	1,371 (0)	1,446 (0)
合 計	2,949 (1)	2,875 (5)	3,121 (2)	3,122 (3)

※( )内はレベル4以上で再掲

## 3 医療事故(レベル2 a～5)の発生状況

### (1) 一括公表

レベル	件数	事 例
2 a	136件	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 転倒により左膝、左大腿部の痛みの訴えがあり、レントゲン撮影を行ったが、骨折等の異常は見られなかった。</li> <li>○ ベッドから異動する際に右すねを擦り剥いたため、絆創膏を貼った。</li> <li>○ 胃管チューブを自己抜去したため、再挿入した。</li> </ul>
2 b	10件	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 転倒により、右前腕部を骨折したため、患部の固定処置を行った。</li> <li>○ 転倒により左眼瞼上部及び上唇部を裂傷し、縫合した。</li> <li>○ トイレで首をつっている状態を発見。自発呼吸及び開眼はあるものの、呼名反応がなかったため、専門病院へ搬送、その後徐々に意識が回復した。</li> </ul>
3	5件	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 高温のお茶を一気に飲んだことによる咽頭喉頭部の熱傷により呼吸困難となったため、気管切開を行った。</li> <li>○ 病室前で倒れているのを発見。右上腕骨頸部を骨折し、他院にて手術を行った。</li> <li>○ 転倒によって大腿骨及び鎖骨を骨折し、他院にて手術を行った。</li> </ul>

(2) 概要公表 該当無し

(3) 個別公表 該当無し